



公益財団法人

兵庫県生きがい創造協会

令和 7 年度事業概要

目 次

目 的	1
基 本 財 産	1
所 在 地	1
沿 革	1
役 員	3
組 織	4

事業の概要

事 業 体 系	5
Ⅰ 令和7年度事業計画 基本的な考え方	7
Ⅱ 令和7年度事業計画	
1 生涯学習の総合的推進	
（1）生涯学習に係る情報提供・調査研究の実施	8
① ひょうごインターキャンパス(兵庫県生涯学習の広場)の運営（協会本部）	
② 生涯学習リーダーバンクの運営（協会本部）	
③ 生涯学習推進アドバイザー派遣事業の実施（協会本部）	
④ 生涯学習情報提供・相談の実施（協会本部）	
⑤ 生涯学習にかかる調査研究（協会本部）	
（2）あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座等の実施	8
① 生涯学習公開講座（協会本部、いなみ野、阪神）	
② 多世代交流事業の実施（いなみ野）	
③ 短期集中講座の実施（協会本部）	
④ 聴講生制度（いなみ野、阪神）	
⑤ ラジオ講座番組（ひょうごラジオカレッジ）の提供	
（3）生涯学習関係機関職員研修の実施	9
① 新任社会教育関係職員等研修（協会本部）	
② 社会教育関係職員スキルアップ研修（協会本部）	
③ 社会教育・生涯学習主幹課長及び社会教育施設長等研修（協会本部）	
2 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流	
（1）大学等学校教育機関との連携	9
① 兵庫大学、兵庫教育大学等との連携（協会本部、いなみ野）	
② 関西労災看護専門学校との連携（阪神）	
③ 公益財団法人兵庫県青少年本部山の学校との連携（いなみ野）	
（2）公民館等市町関係機関との連携（協会本部）	10
（3）博物館等社会教育機関との連携（協会本部、いなみ野、阪神）	10
（4）高齢者大学等関係組織との連携	10
① 同窓研修会との連携（いなみ野）	
② ラジオカレッジ友の会（放送大）	
③ 阪神シニアカレッジ同窓会との連携（阪神）	
（5）広域ネットワーク組織との連携	10
① 兵庫県公民館連合会との連携（協会本部）	

- ② 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会との連携（協会本部）
- ③ 県内文化施設との連携（あいカード）（協会本部、いなみ野、阪神）
- （6）NPO、社会福祉協議会等地域活動団体との連携（いなみ野・阪神）・・・ 11
- （7）学園の魅力を生かした地域住民との交流（いなみ野）・・・ 11

3 地域社会を支える高齢者の学びの支援

- （1）高齢者大学事業の充実
 - ① いなみ野学園・・・ 11
 - ② 阪神シニアカレッジ・・・ 14
- （2）ひょうごラジオカレッジ事業の実施・・・ 16
- （3）地域づくり活動の推進と支援・・・ 17
 - ① いなみ野学園地域活動支援センター
 - ② 阪神シニアカレッジ地域活動支援センター
- （4）高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供・・・ 17
 - ① シニアニュースポーツ
 - ② 全国健康福祉祭（ねんりんピック）

4 経営の健全性・透明性の確保

- （1）安定した収入の確保・・・ 18
 - ① 高齢者大学入学者の確保
 - ② 適正な受益者負担の徴収
 - ③ 寄付募集の推進
 - ④ オープンキャンパスの開催（いなみ野、阪神）
 - ⑤ 自主事業の収益の確保
- （2）職員の適正配置等による運営・・・ 19
- （3）協会事業の透明性確保・広報の充実・・・ 20
 - ① 協会事業の見える化
 - ② マスメディアとの連携
 - ③ いなみ野学園情報番組の制作・発信（いなみ野）
 - ④ ホームページの運営
- （4）経営改善の推進・・・ 20

資料

- 1 令和7年度当初予算・・・ 21
- 2 施設の概要
 - （1）いなみ野学園・・・ 23
 - （2）高齢者園芸センター・高齢者陶芸の村・・・ 25
 - （3）阪神シニアカレッジ・・・ 26
- 3 高齢者大学等の学生の状況・・・ 27
- 4 生涯学習情報の提供・相談等に係る令和5年度事業別実績等・・・ 30

目 的

公益財団法人兵庫県生きがい創造協会は、広く県民の理解と参加を得て、高齢者をはじめとするあらゆる世代の県民自らが積極的に生きがいを創造する活動を支援し、県民の福祉の増進に寄与することを目的とする。

基 本 財 産

73, 170, 000円

所 在 地

公益財団法人兵庫県生きがい創造協会

(総務部・生涯学習部・生涯学習情報コーナー・いなみ野学園・高齢者放送大学)

〒675-0188 加古川市平岡町新在家902番地の3

電話 (079) 424-3380 (代) FAX (079) 424-3475

<https://www.hyogo-ikigai.or.jp/ikigai/> (協会)

<https://www.hyogo-intercampus.ne.jp> (ひょうごインターキャンパス)

阪神シニアカレッジ

〒665-0032 宝塚市東洋町2-5

電話 (0797) 26-8001 FAX (0797) 26-8091

<https://h-senior.jimdo.com/>

高齢者園芸センター 電話 (079) 426-5682

高齢者陶芸の村 電話 (079) 426-0456

〒675-0019 加古川市野口町水足1984番地の62

沿 革

1 協会本部等

昭和44年	6月13日	兵庫県いなみ野学園開設
昭和52年	9月24日	財団法人兵庫県高齢者生きがい創造協会設立
53年	4月1日	高齢者園芸センター、高齢者手づくりの店開設
	11月1日	高齢者陶芸の村開設
54年	10月1日	兵庫県老人休養ホーム六甲保養荘開設
54年	～ 57年	但馬、淡路、丹波、西播磨支部設置
62年	6月18日	兵庫県中央高齢者総合相談センター開設
平成8年	5月	ふるさとひょうご創生塾の開設
平成19年	3月31日	兵庫県老人休養ホーム六甲保養荘を廃止（兵庫県勤労者福祉協会に運営移管）
21年	4月1日	「兵庫県生きがい創造協会」に名称変更 県立嬉野台生涯教育センターの指定管理受託 生涯学習情報プラザが県から移管
22年	4月1日	生涯学習情報プラザを県立嬉野台生涯教育センターに編入
23年	3月31日	兵庫県中央高齢者総合相談センターを廃止
23年	4月1日	財団法人から公益財団法人に移行 県立但馬文教府、県立西播磨文化会館、県立淡路文化会館の指定管理受託
24年	3月31日	但馬、西播磨、丹波、淡路支部を廃止
25年	4月1日	生涯学習情報プラザを生涯学習情報コーナーに改編し本部に編入

26年	4月	1日	ふるさとひょうご創生塾事務局を本部に集約 調査研究・研修担当を本部に集約
29年	11月		経営ビジョン策定
令和5年	3月	31日	ふるさとひょうご創生塾を終了 生涯学習情報コーナーを協会本部（加古川市）に移転
令和6年	3月	31日	県立嬉野台生涯教育センター、県立但馬文教府、県立西播磨文化会館、県立淡路文化会館の指定管理受託終了

2 いなみ野学園・高齢者放送大学

昭和44年	6月	13日	兵庫県いなみ野学園（1年制）開設（47年4月1日修業年限を4年に変更） いなみ野学園に通信教育課程を設置
52年	4月	1日	指導者養成講座（2年制大学院講座）を開設 高齢者放送大学を設置（通信教育課程を廃止）
62年	4月	1日	指導者養成講座（大学院講座）を地域活動指導者養成講座（2年制）に改組
平成18年	4月	1日	大学院講座（2年制）を開設
23年	4月	1日	大学院講座に地域活動コースを開設（23年度末「地域活動指導者養成講座」を廃止）
26年	4月	1日	聴講生制度を開設
27年	1月	25日	地域活動支援センター開設
27年	4月	1日	研究生制度を創設
31年	4月	1日	大学講座新カリキュラム開始 大学院講座に景観園芸コースを開設
令和2年	3月	2日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初のいなみ野学園休講 （～令和2年5月31日まで）
令和3年	4月	1日	陶芸学科専修コースを新設

3 阪神シニアカレッジ

平成9年	4月	1日	兵庫県阪神シニアカレッジ（4年制）開設
16年	6月	1日	阪神シニアカレッジに「地域活動実践講座（2年制）」を開設
21年	5月	1日	阪神シニアカレッジに「ひと・まち創造講座（2年制）」開設 （21年度末「地域活動実践講座」を廃止）
27年	2月	1日	地域活動支援センター開設
31年	4月	1日	宝塚市、尼崎市、西宮市、伊丹市に分散していた学習室を宝塚市に統合し、新学舎で授業開始
令和2年	3月	2日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため初の休講 （～令和2年5月31日まで）

役 員

【評議員】

(令和7年5月1日現在)

氏 名	所 属 ・ 職 名
相 川 康 子	NPO 法人 NPO 政策研究所専務理事兼主任研究員
井 原 卓 也	NPO 法人シミズシーズ副代表理事
岩 木 啓 子	ライフデザイン研究所 F L A P 代表
尾 崎 公 子	兵庫県立大学環境人間学部教授
片 桐 恵 子	神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授
北 茂 正	県民生活部次長兼人権参事
林 ま ゆ み	一般社団法人みどり・人・まち研究所代表理事
藤 井 洋 一	神戸新聞社論説副委員長
溝 口 繁 美	加古川市教育委員会委員（教育長職務代理者）

【役員】

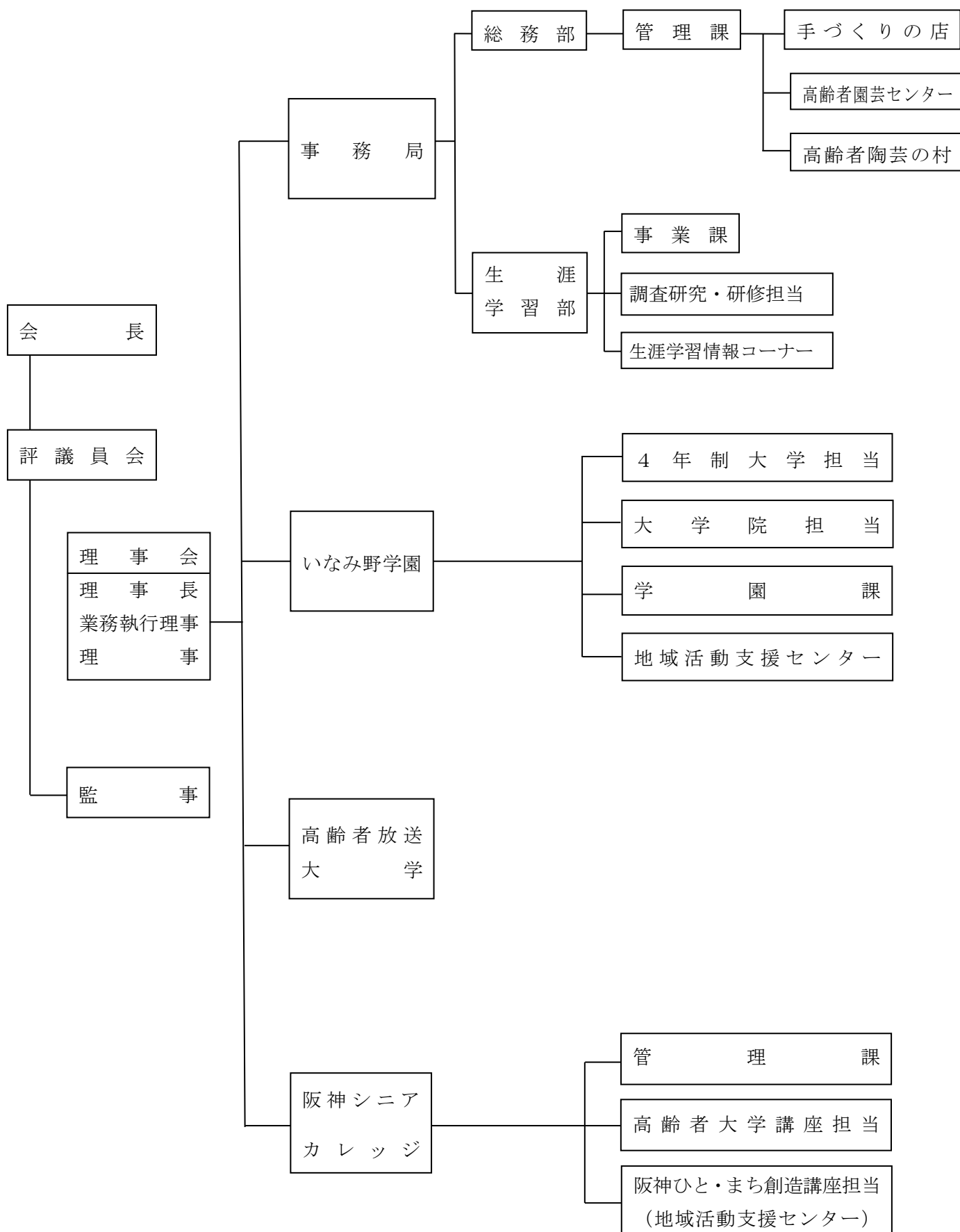
(令和7年5月1日現在)

役員の種類	氏 名	所 属 ・ 職 名
理 事 長	橋 本 正 人	(公財)兵庫県生きがい創造協会
業務執行理事	北 田 輝 彦	(公財)兵庫県生きがい創造協会
業務執行理事	神 足 孝 明	(公財)兵庫県生きがい創造協会
理 事	清 水 勲 夫	(一財)野外活動協会理事長
理 事	西 千 歳	元(公財)兵庫県老人クラブ連合会理事
理 事	廣 岡 徹	元兵庫教育大学大学院教授
理 事	松 岡 広 路	神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授
理 事	萬 浪 佳 隆	兵庫県公民館連合会長
理 事	山 崎 春 人	NPO法人日本森林ボランティア協会理事長
監 事	太 田 和 成	(公財)兵庫県生きがい創造協会
監 事	中 川 寿 子	生活協同組合コープこうべ顧問

【会長・顧問】

会長・顧問	氏 名	所 属 ・ 職 名
会 長	齋 藤 元 彦	兵庫県知事

組



令和7年度事業体系表

生涯学習の推進、多様な連携・交流

1 生涯学習の総合的推進

(1)生涯学習に係る情報提供・調査研究の実施

- ひょうごインターキャンパス（兵庫県生涯学習の広場）の運営（協会本部）
- 生涯学習リーダーバンクの運営（協会本部）
- 生涯学習推進アドバイザー派遣事業の実施（協会本部）
- 生涯学習情報提供・相談の実施（協会本部）
- 生涯学習にかかる調査研究（協会本部）

(2)あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座等の実施

- 生涯学習公開講座（協会本部、いなみ野、阪神）
- 多世代交流事業の実施（協会本部、いなみ野）
- 短期集中講座の実施（協会本部、いなみ野、阪神）
- 聴講生制度（いなみ野、阪神）
- ラジオ講座番組（ひょうごラジオカレッジ）の提供（放送大）

(3)生涯学習関係機関職員研修の実施

- 社会教育関係職員等研修（協会本部）

2 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流

- 大学等学校教育機関との連携（協会本部、いなみ野、阪神）
- 公民館等市町関係機関との連携（協会本部）
- 博物館等社会教育機関との連携（協会本部、いなみ野、阪神）
- 高齢者大学等関係組織との連携（協会本部、いなみ野、阪神）
- 広域ネットワーク組織との連携
- NP0、社会福祉協議会等地域活動団体との連携（いなみ野、阪神）
- 学園の魅力を活かした地域住民との交流（いなみ野）

地域社会を支える学びの支援

3 地域社会を支える高齢者等の学びの支援

(1)高齢者大学事業の充実

- いなみ野学園 4年制大学講座、陶芸学科専修コース、大学院講座、研究生制度、学園運営等各種サポーター
- 阪神シニアカレッジ 4年制大学講座、阪神ひと・まち創造講座

(2)ひょうごラジオカレッジ事業の実施

- ひょうごラジオカレッジ〔高齢者放送大学〕
- ラジオカレッジサポーター

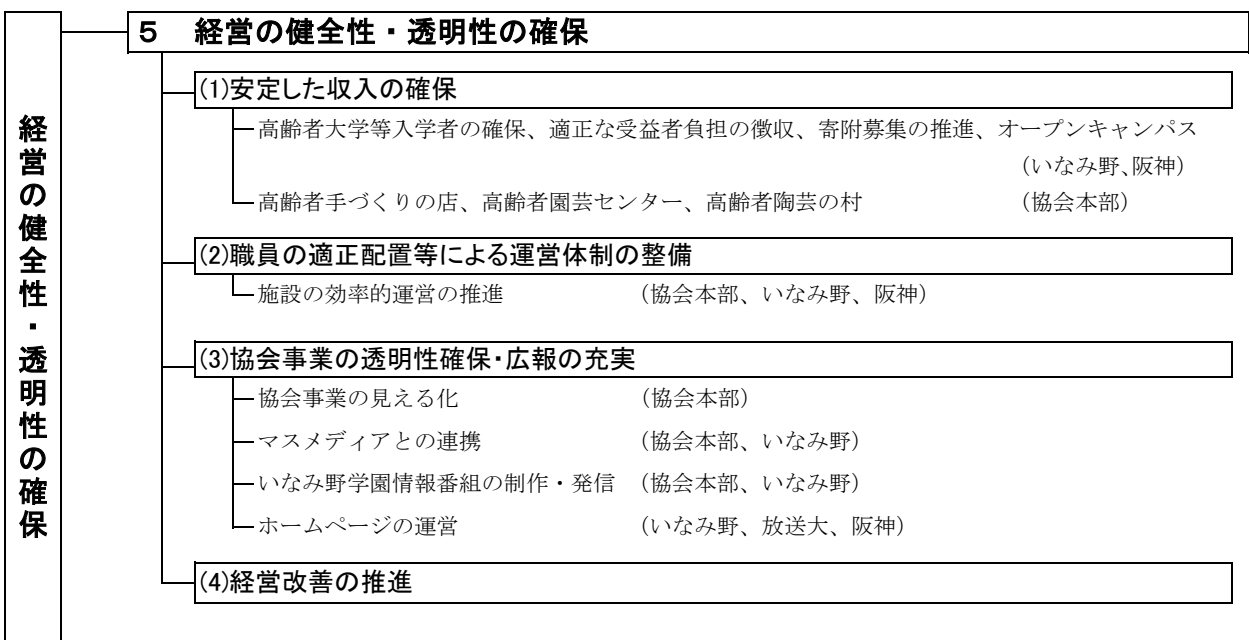
(3)地域づくり活動の推進と支援

- いなみ野学園地域活動支援センター
- 阪神シニアカレッジ地域活動支援センター

(4)高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供

- シニアニュースポーツ、全国健康福祉祭〔ねんりんピック〕（協会本部）

4 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流(再掲)



※ 実施機関 (協会本部) 兵庫県生きがい創造協会 総務部・生涯学習部 (いなみ野) いなみ野学園
(放送大) 高齢者放送大学 (阪神) 阪神シニアカレッジ

令和7年度事業計画

I 基本的な考え方

これまで協会が行ってきた「いなみ野学園」「阪神シニアカレッジ」「ひょうごラジオカレッジ」の運営を図っていくとともに、生涯学習講座の実施、公民館等社会教育施設職員等を対象とした人材育成、シニアニュースポーツの普及、生涯学習情報の発信など、あらゆる世代の生涯学習を支援する取組を充実し、県民の生涯にわたる学びを応援する先導拠点としての役割を果たしていきます。

1 生涯学習の推進

あらゆる世代の生涯学習を支援するため、くらしに役立つ趣味や知識等の分野に関する講座や生活に必要な基礎知識を習得するための講座など、受講者ニーズを踏まえた短期集中講座を実施します。

また、ひょうごインターキャンパスや生涯学習リーダーバンクの運営等を通じて、生涯学習に関するさまざまな情報提供等を行います。

2 高齢者等の学びの支援

高齢者の学びを支援するため、地域の企業・団体、国・県と連携しながら、若手講師による講座や、時代のニーズを捉えた新しい内容の講座を増やすなど、講座内容の一層の充実に努めます。

また、オンライン年間聴講生を募集し、共通講座を録画配信します。

3 経営改善の推進

コロナ禍での入学者数の減少や物価高騰による影響で、協会の経営状況は依然として厳しい状況にあります。

今後とも、学生増につながる学園の魅力向上に努めるとともに、令和5年6月に設置した「兵庫県生きがい創造協会経営改善推進本部」のもと、引き続き経費削減対策及び収入確保対策を講じながら、「令和7年度収支差額ゼロ」を目指した経営改善に取り組みます。

Ⅱ 令和7年度事業計画

1 生涯学習の総合的推進

(1) 生涯学習に係る情報提供・調査研究の実施

※中項目または事業名の後の（ ）は実施機関

事業名	事業概要
①ひょうごインターキャンパス（兵庫県生涯学習の広場）の運営 (協会本部)	・教育機関・民間企業・行政等様々な生涯学習機関と連携し、多彩で幅広い生涯学習情報を提供するウェブサイト「ひょうごインターキャンパス」を運営します。
②生涯学習リーダーバンクの運営 (協会本部)	・生涯学習で得た知識・技能を生かし、ボランティア指導者として学習グループ等の活動支援をしようとするいなみ野学園研究生等の新たな登録を促進するとともに、その利用促進を図り、学びの社会還元を推進していきます。
③生涯学習推進アドバイザー派遣事業の実施 (協会本部)	・市町や生涯学習関係機関が抱える課題の解決を支援する生涯学習推進アドバイザー派遣事業を実施します。
④生涯学習情報提供・相談の実施 (協会本部)	・講座、資格、施設、イベント等に関する各種の生涯学習情報を提供するとともに、生涯学習に関する相談に応えます。
⑤生涯学習にかかる調査研究 (協会本部)	・社会教育、生涯学習をめぐる最近の諸課題と対応の実態について、県教育委員会、県公民館連合会などと連携し、調査研究します。

(2) あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座等の実施

① 生涯学習公開講座

協会本部 いなみ野学園	・現役世代を含むあらゆる世代の生涯学習に対する意識の高揚を図るため、政治・経済、芸術・文化、防災等について著名な有識者による講座を広く県民を対象にして開催します。
阪神シニアカレッジ	・オープンキャンパスなどの機会を活用し、学長の企画による文学、歴史に関する公開講座「学長文学歴史サロン」を開催します。

② 多世代交流事業の実施（いなみ野）

いなみ野学園の休園日の学舎などを活用し、学園生と地域の多世代住民がともに学び、交流するイベントなどを実施します。

〔講座・イベント例〕 親子陶芸教室、多可町との交流事業（絵画教室） など

③ 短期集中講座の実施（協会本部）

通年ではなく短期間の講座へのニーズを踏まえ、いなみ野学園の休園日などの学舎を活用し、くらしに役立つ趣味・知識等の分野の講座や、生活支援分野において活躍するために必要な基礎知識を習得するための講座など、短期集中講座（有料制・複数回開催）を実施します。

〔講座例〕 文学散歩、自然科学講座、話し方講座、剪定 など

④ 聴講生制度（いなみ野、阪神）

ア いなみ野学園

いなみ野学園高齢者大学の講座の一部を公開し、地域づくりについて学ぶきっかけづくりや実践活動の充実につなげていきます。

さらに「人生 100 年時代」に対して退職後の生き方を考える世代（退職準備世代）に学びの場を提供し、就業・介護等の事情から高齢者大学への入学が困難な層にも学習の機会を提供します。

令和 3 年度からは、現役学生も他学年の共通講座及び同一学科の専門講座の聴講を可能としました。

・受講料（1 講座あたり） 学生・卒業生 1,300 円、一般 1,500 円

イ 阪神シニアカレッジ

高齢者大学の講座の一部を公開し、カレッジライフの楽しさを体験していただき、募集案内を送付するなど学生の確保につなげていきます。

・受講料（1 講座あたり） 学生・卒業生 1,300 円、一般 1,500 円

⑤ ラジオ講座番組（ひょうごラジオカレッジ）の提供

著名な講師陣による質の高いラジオ講座を運営し、幅広く県民に生涯学習の機会を提供します。

(3) 生涯学習関係機関職員研修の実施

地域における学習拠点・活動拠点である公民館等の生涯学習関係機関の職員等を対象とする体系的な研修の機会を提供し、地域課題の解決に必要な知識・技能を養成する研修等により、関係職員等の資質向上を図ります。

① 新任社会教育関係職員等研修（協会本部）

社会教育関係職員として、職務を遂行する上で求められる基礎的な知識や技能を習得するための研修を実施します。

・対 象 者 社会教育・生涯学習関係職員等（経験 2 年未満程度）

② 社会教育関係職員等スキルアップ研修（協会本部）

企画能力、広報力、事業評価力など社会教育推進に向けた専門的な知識や技能を習得するための研修を実施します。

・対 象 者 社会教育・生涯学習関係職員等

③ 社会教育・生涯学習主管課長及び社会教育施設長等研修（協会本部）

社会教育主管課長や公民館長を対象に、社会教育・生涯学習の動向を学ぶとともに研究協議を行う研修を実施します。

・対 象 者 社会教育・生涯学習主管課長、公民館長等社会教育施設の長 等

2 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流

生涯学習や地域づくり活動に対する多彩な県民ニーズに応えるため、多様な生涯学習関係機関、活動団体等とのネットワーク化や連携を進めます。

(1) 大学等学校教育機関との連携

① 兵庫大学、兵庫教育大学等との連携（協会本部、いなみ野）【拡充】

兵庫大学・兵庫大学短期大学部、兵庫教育大学等との連携により、生涯学習講座の開設、学校施設の相互利用等を実施します。また、兵庫大学看護学部生、姫路大学看護学部生、姫路医療センター附属看護学校生との交流を実施します。

② 関西労災看護専門学校との連携（阪神）

健康学科、国際理解学科の講座の中で関西労災看護専門学校生との交流を実施します。

③ 公益財団法人兵庫県青少年本部山の学校との連携（いなみ野）

山の学校生徒による施設内の倒伐木のほか、交流事業に取り組みます。

(2) 公民館等市町関係機関との連携（協会本部、いなみ野）

公民館等が主催する生涯学習講座等の講師の紹介、生涯学習推進アドバイザーやいなみ野学園研究生の派遣などにより、市町の生涯学習事業を支援していきます。

(3) 博物館等社会教育機関との連携（協会本部、いなみ野、阪神）

県立美術館、兵庫陶芸美術館、県立考古博物館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立丹波年輪の郷との連携により、高齢者大学への講師派遣、各施設の実施事業への積極的な参加等を実施します。

(4) 高齢者大学等関係組織との連携

① 同窓研修会との連携（いなみ野）

同窓研修会を高齢者大学卒業生の生涯学習機関と位置づけ、講師としての研究生等の紹介を通じて研修活動の充実に協力していきます。あわせて、協会の協働先として、事業実施に協力を求めています。

② ラジオカレッジ友の会（放送大）

高齢者放送大学の「ラジカレ応援団」ともいえる友の会の活性化を図るため、友の会の組織率向上や自主事業の実施、運営継続などに関する課題を代表者会議の中で検討していきます。また、地方スクーリング等の機会を通じて、各友の会会員と個別に意見交換を行うなど、きめ細やかな支援協力を図っていきます。

③ 阪神シニアカレッジ同窓会との連携（阪神）

カレッジ学生・聴講生募集への協力、同窓会が実施する講座への講師紹介など、相互に連携を進めています。

(5) 広域ネットワーク組織との連携

兵庫県公民館連合会等の県域ネットワーク組織との連携を強化するとともに全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会等の県域を越えたネットワーク組織との連携を強化していきます。

① 兵庫県公民館連合会との連携（協会本部）

第 68 回兵庫県公民館大会を支援します。また、生涯学習関係機関職員等研修を共同実施することで、同連合会との連携強化を図ります。

第 68 回兵庫県公民館大会概要

開催日：令和 8 年 1 月（予定）

場 所：兵庫県いなみ野学園

主 催：兵庫県公民館連合会

共 催：公益財団法人兵庫県生きがい創造協会

内 容：表彰、施策説明、講演ほか

② 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会との連携（協会本部）

高齢者の生きがいづくり・健康づくりを推進し、地域の支え手となる高齢者を育む活動に取り組む全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会が主催する会議・研修会に参加し、推進機構相互の情報交換や事業推進の協議を行います。

③ 県内文化施設との連携（あいカード）（協会本部、いなみ野、放送大、阪神）

県内の美術館、博物館等の文化施設における当協会が所管する県高齢者大学等学生を対象とする割引利用制度（あいカードの提示による割引）により、学生の学習ニーズに対応するとともに、文化施設の利用促進を図っていきます。

(6) NP0、社会福祉協議会等地域活動団体との連携（いなみ野、阪神）

ボランティア活動の場の提供、実践体験講座の支援等に取り組むボランティアセンターを運営する市町社会福祉協議会、NP0 を育成する中間支援団体等との連携を進めていきます。

(7) 学園の魅力を活かした地域住民との交流（いなみ野）

施設の魅力を活かした地域住民との交流を行います。

- ・学園の魅力ある資源を活かした陶芸および園芸の地域開放型講座
- ・「親子陶芸教室」の継続実施（再掲）

3 地域社会を支える高齢者等の学びの支援

(1) 高齢者大学事業の充実

- ・幅広い教養の涵養やクラブ活動を通じた仲間づくりなど、引き続き高齢者の生きがいづくりを支援するとともに、学習成果を地域社会で生かす取組みを強化するなど、高齢者大学事業の充実を図ります。
- ・いなみ野学園、阪神シニアカレッジは、立地する地域の特色、施設の状況、学生の学習ニーズ等を踏まえ、それぞれの個性をより生かした先進的な講座運営等を目指します。

① いなみ野学園

ア いなみ野学園大学講座

高齢者の多様なニーズに柔軟かつ機動的に対応した魅力あるカリキュラムになるよう常に検証を行い、入学者の増加に努めます。

また、社会の動向や学園生のニーズを踏まえた新しい内容の講座を増やすとともに、地域の企業・団体や国、県との連携を図りながら、講座内容の一層の充実に努めます。さらに欠席者・復習用の共通講座録画配信を第 1 ～ 3 学年生を対象に実施し、印刷資料の削減にも取り組みます。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	①概ね 56 歳以上の県内在住者で、学習や地域活動に意欲のある方 ②本大学卒業見込みまたは卒業した者は、卒業学科（在学学科）も志願することができる	
学習年限	4 年	
授業日等	授業日	・第 1 学年＝月曜日 ・第 2 学年＝火曜日 ・第 3 学年＝木曜日 ・第 4 学年＝金曜日
	授業時間数等	・授業 週 1 回 ・毎日の授業時間数＝90 分× 2 回の講義、実習と園外実習など。 1 年 共通講座 25 講座・専門講座 35 講座 2～4 年 共通講座 20 講座・専門講座 40 講座
定 員	園芸学科・健康づくり学科・文化学科 各 100 名 陶芸学科 40 名 計 340 名	
経 費	入学金 6,000 円 受講料（年間） 50,000 円 その他実習費等	

〔講座内容〕

講座名		学習目標	学習内容
専門講座	共通講座	専門講座の基礎的な講座と様々な分野についての見聞を広げ、地域を支え、学び続けるため、「深く兵庫を学び、広く世界を知る」「健やかに生き、安全・安心に暮らす」「生きがいを創り、人間を磨く」に則り、計画的な講義を同一年次の受講生全員が共通して学びます。	歴史・文化、自然、生き方、人間関係 健康・医療、福祉・介護、経済・法律、防災・防犯、交通安全 社会の動き、地域創生、その他
	園芸学科	園芸に関する知識と技能を修得するとともに、広く農業や緑化、環境保全の問題について学ぶことにより、地域に貢献する意識と能力を身につけます。	園芸植物の栽培基礎、野菜・草花・果樹・樹木その他の園芸知識、園芸に関する時事問題、地域貢献
	健康づくり学科	こころとからだの調和がとれたより良い生活を実践するモデルとなるとともに、具体的な講義や実習を通じて地域に貢献する意識と能力を身につけます。	からだ・運動（実技・運動概論）、食事・住居・環境、健康・福祉、地域貢献、その他

専門講座	文化学科	文化や歴史、芸術、文学に関する教養を深めるとともに、講義や園外学習、自主研究活動を通じて地域に貢献する意識と能力を養います。	ふるさとの地誌、兵庫の偉人、日本の歴史、日本の文学・語学、伝統文化、世界の文化、異文化理解、芸術の世界、表現、旧跡探訪、その他
	陶芸学科	陶芸に関する基礎的な知識や技能を学び創作するとともに、作品鑑賞を通じた豊かな心の醸成により地域社会に貢献する意識と能力を身につけます。	陶芸の歴史と鑑賞、作陶、施釉、焼成、その他
〔陶芸学科専修コース(令和3年度～)〕 陶芸学科卒業生など、陶芸に関する一定の技能を持っておられる方を対象に、「陶芸学科専修コース」を開設しています。(1年制・更新可能)			

イ いなみ野学園大学院講座

高齢者大学講座等で学んできた知識や技能を掘り下げ、個人や地域の力を再発見することにより、地域での活動をはじめ、地域づくりを支援できる人材の育成を目指します。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	2年制以上の県・市町立高齢者大学を卒業（見込みを含む）した方 特に学習及び地域活動に意欲があると学園長が認めた方
学習年限	2年
授業日等	授業日 第1学年＝火曜日 第2学年＝金曜日 授業日数 年間30日
定員	地域づくり研究科 計50名 (歴史・文化、健康・福祉、環境・地域、景観園芸 全4コース)
経費	入学金6,000円 受講料(年額)50,000円

〔講座内容〕

コース名	学習目標	学習内容
歴史・文化コース	地域の歴史、兵庫の歴史、地域の文化、日本の文化について学び研究します。	日本・諸外国の歴史・文化、地域の歴史・文化、伝統行事・伝統文化、文化遺産、文学、偉人、その他
健康・福祉コース	健康及び福祉という観点から人生や地域の在り方を研究します。	健康・福祉、ボランティアグループの運営、レクリエーション、その他
環境・地域コース	環境問題の現状を知り、次世代を見据えた人と地域や自然との関わり方について学び研究します。	環境保全と地域活動、再生可能エネルギー、日本のエネルギー消費、生物多様性、その他
景観園芸コース	自然や風土と関わる生活を見つめ直し、豊かな暮らしのあり方について学び研究します。	地域の自然・風土、造園・園芸、景観園芸による地域づくり、その他

ウ 研究生制度

高齢者大学の卒業生を活用した生涯学習指導者の養成を図るため、いなみ野学園大学院講座修了者を対象に、生涯学習指導者としての研究及び実践活動を行う研究生制度を運営します。

対 象 者	いなみ野学園大学院修了者
研究期間	原則 5 年限度
内 容	研究計画書の提出及び研究期間末に成果報告を提出します。 大学院講座学科主任又は同講座講師の指導を受講します。 いなみ野学園大学講座の特任講師として講義を奨励します。
研究機会	年 15 回 （公開講座・ゼミなどの登園日数）
経 費	負担金 （年間） 26,500 円

エ 学園運営等サポーター

高齢者大学の講座運営等を支援する高齢者大学等運営サポーターを募集、登録し、高齢者大学卒業生等の学習成果を活かしていくとともに、高齢者大学等の活性化を図っていきます。

〔学園運営サポーター〕

種 別	内 容
（講座等）運営サポーター（5名程度）	大学院や大学の講座における円滑な講座運営のための講座補助業務を行います。 〔対象〕 研究生等
地域活動支援センター運営サポーター（4名）	学生等による地域活動を企画し、その実践を支援します。 〔対象〕 学園卒業生等
学園広報サポーター（8名）	CATV 番組や広報ビデオ、名刺の制作などを行います。 〔対象〕 研究生
みどりのサポーター（30名程度）	いなみ野学園敷地内の庭木や草花の植栽管理活動を行います。 〔対象〕 学園卒業生

② 阪神シニアカレッジ

ア 阪神シニアカレッジ大学講座

高齢者が生涯学習を通して教養をより高めるとともに、「生涯現役」として創造的に生きるための多彩なプログラムを提供します。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	56 歳以上の神戸・阪神地域在住の方
学習年限	4 年
授業日等	授業 週 2 回（一般教養講座 1 回、専門講座 1 回） 毎日の授業時間数＝90 分の講義、実習とフィールドワーク 年間 1～4 年 一般教養講座 30 回・専門講座 30 回
定 員	園芸学科・健康学科・国際理解学科 各 50 名 計 150 名
経 費	・ 1 年生（令和 7 年 4 月入学） 受講料（年間） 60,000 円 実習費（年間）園芸学科のみ 6,000 円 ・ その他 受講料（年間） 50,000 円 実習費（年間）園芸学科のみ 3,000 円

〔講座内容〕

区分		学習目標	学習内容
一般教養講座		園芸、健康、国際理解の3学科に共通する講座として、人文科学、社会科学、自然科学、芸術文化、スポーツの各分野について、幅広い教養を体系的に理解します。	・現代社会、芸術文化、豊かさなどの社会及び人間のあり方に関する人文科学及び社会科学関係 ・生命、動植物、生物多様性、災害、気象、エネルギー、宇宙などの自然科学関係 ・音楽、絵画、スポーツなどの芸術文化等関係
専門講座	園芸学科	園芸初心者を対象に、野菜、草花、果樹、庭木等栽培を中心として、園芸の基礎から応用までを段階的に理解します。	・野菜、花、果樹、庭木などの幅広い園芸技術 ・園芸道具、資材、種選びや苗選びなどの共通的基本作業 ・園芸植物の基礎科学 ・阪神地域に適した家庭園芸実践技術 ・先端園芸科学 ・グループ実習 ・フィールドワーク
	健康学科	健康で活動的なシニアライフを営むために病気、健康を阻害する要因、健康長寿を実現する実践的手法を理解します。	・病気についての正しい知識 ・健康を阻害する様々な要因 ・健康長寿を実現する実践的手法 ・フィールドワーク
	国際理解学科	グローバルな視点で私たちの生活、地域社会、国の課題を考えていくために、世界の諸地域、世界の政治・経済・社会・文化、国際社会の現状と課題を理解します。	・世界の諸地域 ・世界の政治、経済、社会、文化 ・世界の現状と課題 ・国際協力 ・地域国際化 ・フィールドワーク

イ 阪神ひと・まち創造講座

地域社会等での人間関係・コミュニケーションを改めて学び、あわせて阪神地域の歴史・文化・産業・自然などの魅力や課題を再認識することで、地域への愛着をもったコミュニティ活動等への意欲の醸成とコミュニティの活性化をめざします。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	56歳以上の神戸・阪神地域在住の方
学習年限	2年
授業日等	授業日 週1回 授業日数 年間30回
定員	30名
経費	・1年生（令和7年4月入学）受講料（年間）30,000円 ・その他 受講料（年間）25,000円

〔講座内容〕

学習目標	学 習 内 容
阪神地域の歴史、文化、産業、自然などの魅力や課題、地域社会における人間関係のあり方を理解するとともに、地域課題の解決に向けての地域活動を実践します。	・ 阪神地域の歴史、文化、産業、自然 ・ 地域活動 ・ コミュニケーション力、人間関係 ・ フィールドワーク

(2) ひょうごラジオカレッジ事業の実施

ア ひょうごラジオカレッジ（高齢者放送大学）

著名な講師陣による質の高いラジオ講座を運営し、幅広く県民に生涯学習の機会を提供するとともに、中央・地方スクーリング等を通じた学友との交流の場の提供など、ラジオカレッジの魅力を積極的に発信していきます。

さらに、令和4年度から年齢・居住制限を撤廃し、ラジオ講座による学習に意欲のある人なら誰でも参加できるように制度を改正したことを踏まえ、若年層や県外居住者など受講生のさらなる拡大を図っていきます。

また、新たに百歳以上の受講生を「名誉聴講生」とし、人生百年時代において生涯学習に励む姿勢に敬意を表し、他の受講生の学習意欲の向上を図ります。

〔入学資格・定員等〕

入学資格	本科生：ラジオ講座による学習に意欲のある方 生涯聴講生：原則として本科を修了した方 名誉聴講生：原則として本科を修了し、年度開始時点の年齢が百歳以上の方
学習年限	本科生：1年、生涯聴講生・名誉聴講生：1年ごとに更新（年限なし）
定 員	本科生：500名 ※生涯聴講生は定員を設けません。
経 費	本科生 7,000円 生涯聴講生 6,000円 名誉聴講生 無料 ※テキスト購読料、スクーリング等参加料を含む年額
自主活動	県内各地区にラジオカレッジ友の会が自主的に結成され、活動中です。各友の会はお互いに交流を図りながら、学習会やボランティア活動などを実施しています。

〔講座内容〕

区分	運営方針等	学習方法等
ラジオ講座	・ 毎週土曜日午前7時から30分間のラジオ講座（ラジオ関西 AM558・FM91.1、豊岡AM1395・香美FM77.8）を放送します。 （学習内容） ①健康・医療 ②文化・歴史 ③生きがいづくり ④政治・経済、自然科学、地域づくり、その他社会的話題性を有する事項	・ 聴講後、講座の感想文をはがき（またはメール）で提出します。 ・ 本科生は、月1回程度往復はがき等で感想文を提出し、返信用はがき等でラジオカレッジ講師から個々に助言します。 ・ 講義の概要や学生の感想文などを掲載したテキストを毎月1回、さらに、特集号を年1回発行（郵送）します。

スクーリング等	・学生相互あるいは学生と講師・職員との交流を深めるため、スクーリング、研修旅行、春のつどい、文芸祭を行います。	・中央スクーリング（年2回） いなみ野学園キャンパス ・地方スクーリング（各年1回） 阪神・神戸、丹波、但馬、播磨の各地域 ・研修旅行（県内 年1回1日） ・春のつどい、文芸祭 いなみ野学園キャンパス
---------	---	---

イ ラジオカレッジサポーター

テキスト等の編集や発送に関すること、行事開催に関することなど、ラジオカレッジ運営を支援する「ラジオカレッジサポーター」を募集・登録し、各種事業にスタッフとして参加しています。

- ・対象者 ラジオカレッジ学生
- ・募集人員 20名
- ・活動日数 年20回程度

(3) 地域づくり活動の推進と支援

① いなみ野学園地域活動支援センター

いなみ野学園の学生・卒業生が行う地域づくり活動を推進する拠点として「地域活動支援センター」をいなみ野学園内に設置し、ボランティア情報の提供やボランティア団体の創設・運営、活動成果の情報発信を支援しています。

- ・運営サポーター4人
- ・主な機能 グループ登録やマッチング等の地域での実践活動のきっかけづくり。地域活動の企画・運営に関する相談、研修会、講演会の開催、広報紙の発行など活動成果の情報発信

② 阪神シニアカレッジ地域活動支援センター

卒業生等へのボランティア情報提供やボランティア団体の創設・運営等を支援する「地域活動支援センター」を運営し、県高齢者大学卒業生等が行う地域づくり活動を促進します。

- ・主な機能 グループ登録やマッチング等の地域での実践活動のきっかけづくり。地域活動の企画・運営に関する相談、研修会、講演会の開催、広報紙の発行など活動成果の情報発信、登録グループの行う地域活動に対する経費支援

(4) 高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供

ツウゲットボール等のシニアニュースポーツの普及、全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手派遣を行い、高齢者の交流・健康づくり活動を広域的に展開していきます。

① シニアニュースポーツ（協会本部）

グラウンド・ゴルフをはじめとするシニアニュースポーツの普及促進を図り、当協会が開発したツウゲットボールの全県大会を開催します。

- | | | |
|--------------|------|-------------|
| ツウゲットボール全県大会 | ・開催日 | 令和7年11月（予定） |
| | ・参加者 | 160名（32チーム） |

② 全国健康福祉祭（ねんりんピック）（協会本部）

全国の高齢者がスポーツ等を通じて交流を深める全国健康福祉祭（ねんりんピック）に兵庫県選手団を派遣します。

○ねんりんピック岐阜 2025（第 37 回全国健康福祉祭ぎふ大会）

- ・会 期 令和 7 年 10 月 18 日～21 日
- ・選手団 180 名程度

4 経営の健全性・透明性の確保

県民の生涯にわたる学びを応援する先導拠点の実現に向けて、県民の信頼を得ながら、安定的、持続的な経営に努めます。

「兵庫県生きがい創造協会経営改善推進本部会議」を通して、経営の健全性・透明性を確保し、いなみ野学園をはじめ各種事業の魅力向上に取り組みます。

(1) 安定した収入の確保

① 高齢者大学入学者の確保

応募者数が減少傾向にあることから、魅力的なカリキュラムの設定など、高齢者大学の魅力向上を図り、入学者定員の確保に努めます。

また、入学者募集の際に効果的な口コミによる周知を図るため、学生・卒業生等への高齢者大学に関する定期的な情報提供を行うほか、PR 効果の高いホームページ、マスメディアの活用など、効果的な PR に努め、認知度の向上を図ります。

② 適正な受益者負担の徴収

協会事業に係る経費について、適正な受益者負担を求めることとし、原料・資材の価格高騰を踏まえ、講座充実費や実習費などの学生納付金の改正を行います。

③ 寄付募集の推進

いなみ野学園創立 50 周年を機に、令和元年度から寄付募集を開始しました。今後も在園生に寄付募集を積極的に働きかけるとともに、ホームページ等を通じて広く一般への周知に努め、寄付受納の一層の促進を図ります。

④ オープンキャンパスの開催（いなみ野、阪神）

施設の見学を通じて入学志望を高めてもらうため、オープンキャンパスを開催します。

講義参観やクラブ見学のほか、秋の学園祭開催時には地域内の住民に広く参加を呼びかけるなど一般県民に開放することで、高齢者大学での学びや活動への理解と啓発を図り、生涯学習を推進する機会とします。

⑤ 自主事業の収益の確保

積極的な広報を行い、新規利用者の掘り起しなど利用者の増加に努めます。

また、いなみ野学園の学生・卒業生等との連携により、出品物の販売拡大を目指します。

ア 高齢者手づくりの店（協会本部）

高齢者が、趣味、創作活動として製作した手工芸品や民芸品、育成した野菜・花などを販売する場として、引き続き、民間事業者に委託して運営します。

- ・ 出品物 野菜、花き、果物、苗、菓子、手芸品など
- ・ 施設の概要 木造平屋建寄棟造 117.9 m²

イ 高齢者園芸センター（協会本部）

高齢者が土と親しみ作物を育てることを通じて健康を増進するとともに、地域や世代間の心のふれあいと交流を図る場として運営します。

(7) 指導者付貸農園（ファミリーファーム）の運営

- ・ 区画数 448 区画(16.5 m² ; 395 区画、30 m² ; 14 区画、32 m² ; 39 区画)
- ・ 利用料 16.5 m² 7,200 円／年
30 m²及び 32 m² 18,000 円／年

(イ) 施設の概要

- | | | | |
|-------------|-----------------------|-------|----------------------|
| ・ ファミリーファーム | 11,620 m ² | ・ 農 園 | 4,415 m ² |
| ・ 果樹園 | 6,330 m ² | ・ 管理棟 | 176 m ² |

ウ 高齢者陶芸の村（協会本部）

高齢者が作陶活動を通じて、仲間と共に生きがいを創造する場として、会員の自主運営により実施しています。

(7) 会員の入村・利用料等

- ・ 会 員 60 歳以上の者
- ・ 入村料 12,000 円 ・ 利用料 月額 6,000 円（3 月分前納）
- ・ 材料費・焼成費 内容に応じて設定
- ・ 作陶日：週 2 回（月・木）

指導員が作陶焼成等の指導にあたります。

(イ) 地域への開放

地域の人々に施設を開放し、広く陶芸の普及と世代間交流を図ります。

- ・ 利用料 一人 1 日 1,500 円
- ・ 材料費・焼成費 内容に応じて設定
- ・ 指導員が作陶焼成等の指導にあたります。
- ・ 作陶日：毎週水曜日

(ウ) 施設の概要

- ・ 敷地 2,820 m²、建物 720.78 m²
- ・ 作業棟 3 棟 451.11 m²、窯棟 3 棟 120.43 m²、乾燥棟 72 m²、その他 78.24 m²

(2) 職員の適正配置等による運営

長期的視点で事業を計画的、継続的に執行することができるよう職員の適正配置等による運営を行うとともに、高齢者大学のクラス運営等のルーティン業務を運営サポーター等による自立的運営に移行するなど、高齢者が高齢者を支援する体制で運営を行います。

(3) 協会事業の透明性確保・広報の充実

① 協会事業の見える化（協会本部）

ア 協会ホームページで、組織・収支状況・経営方針・事業内容・イベント情報などを定期的に発信します。

イ ニュースレター「生きがい通信」

高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報などをニュースレターとしてホームページに掲載することにより、地域社会への貢献についての県民の意識啓発を図るとともに協会事業の内容を積極的に発信します。

・発信回数 年3回

ウ SNSを活用した情報発信

協会公式インスタグラムで、各種協会事業について時宜を得た情報を発信します。

② マスメディアとの連携（協会本部、いなみ野）

ラジオや新聞等のマスメディアの協力を得ながら、当協会及び協会事業の情報発信を行います。

③ いなみ野学園情報番組の制作・発信（協会本部、いなみ野）

ア 地域ケーブルテレビ局「BAN-BAN テレビ」の協力を得て、研究生等の自主制作により放映している番組「播磨まちかどニュース with いなみ野学園」への応援を通じて、学園行事等の情報発信に努めます。

イ 学園ホームページを活用し、学生の協力を得て「播磨まちかどニュース with いなみ野学園（瓦版）」を発行し、学園の活動や魅力について情報発信を行います。

④ ホームページの運営（協会本部、いなみ野、放送大、阪神）

可能な限りの情報公開を目指すとともに、わかりやすく、親しみやすい、身近に感じてもらえる施設像の情報発信に努めていきます。

(4) 経営改善の推進

健全な財務基盤の確立にむけ、実施事業の見直し、経営効率化にむけた取組みを進めます。

収 支 予 算（資金ベース）

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

（単位：千円）

勘定科目	当初予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	1 423	423	0	
基本財産利息収入	2 423	423	0	
(2) 基金運用収入	3 1,041	876	165	
基金利息収入	4 1,041	876	165	
(4) 事業収入	5 15,049	15,774	△ 725	
ファミリーファーム利用収入	6 2,197	2,325	△ 128	
生産物販売収入	7 3,744	3,573	171	
陶芸の村利用収入	8 8,958	9,726	△ 768	
刊行物等販売収入	9 104	138	△ 34	
手数料収入	10 46	12	34	
(5) 補助金等収入	11 172,746	183,030	△ 10,284	
生きがい創造協会運営補助金収入	12 77,024	81,306	△ 4,282	
いなみ野学園等運営補助金収入	13 45,561	45,478	83	
阪神シニアカレッジ運営補助金収入	14 41,482	42,195	△ 713	
健康福祉祭派遣受託収入	15 3,433	2,420	1,013	
生涯学習情報プラザ運営補助金収入	16 5,120	11,505	△ 6,385	
生涯学習等施設運営補助金収入	17 126	126	0	
(6) 負担金収入	18 109,135	110,431	△ 1,296	
いなみ野学園入学金収入	19 1,506	1,560	△ 54	
いなみ野学園生負担金収入	20 51,246	54,662	△ 3,416	
放送大学生負担金収入	21 7,696	7,037	659	
特別講座参加者負担金収入	22 1,379	830	549	
阪神シニアカレッジ入学金収入	23 0	1,128	△ 1,128	
阪神シニアカレッジ生負担金収入	24 33,683	31,798	1,885	
情報学習講座生負担金収入	25 923	765	158	
サークル活動負担金収入	26 2,418	2,386	32	
駐車場利用負担金収入	27 10,284	10,265	19	
(7) 寄付金収入	28 400	300	100	
寄付金収入	29 400	300	100	
(8) 雑収入	30 4,663	4,785	△ 122	
受取利息収入	31 2	0	2	
雑収入	32 4,661	4,785	△ 124	
(9) 他会計からの繰入金収入	33 1,067	1,074	△ 7	
収益事業等会計繰入金収入	34 1,067	1,074	△ 7	
事業活動収入計	35 304,524	316,693	△ 12,169	
2. 事業活動支出				
(1) 高齢者等の生きがい創造事業費支出	36 249,158	260,498	△ 11,340	
長寿社会づくり助成事業費支出	37 1,041	876	165	
園芸センター人件費支出	38 1,949	1,905	44	
園芸センター運営費支出	39 1,609	1,577	32	
陶芸の村人件費支出	40 1,051	1,847	△ 796	
陶芸の村運営費支出	41 4,689	6,503	△ 1,814	
手づくりの店運営費支出	42 222	129	93	
いなみ野学園人件費支出	43 40,852	48,345	△ 7,493	
いなみ野学園運営費支出	44 56,375	57,385	△ 1,010	
放送大学運営費支出	45 22,507	19,597	2,910	
阪神シニアカレッジ人件費支出	46 42,235	42,410	△ 175	
阪神シニアカレッジ運営費支出	47 28,868	29,336	△ 468	
生きがい創造協会人件費支出	48 41,164	43,561	△ 2,397	
生きがい創造協会運営費支出	49 6,596	7,027	△ 431	
(2) 生涯学習事業費支出	50 5,507	11,905	△ 6,398	
生涯学習情報コーナー人件費支出	51 4,155	4,118	37	
生涯学習情報コーナー運営費支出	52 1,226	7,661	△ 6,435	

勘定科目		当初予算額	前年度予算額	増減	備考
社会教育指導者研修費支出	53	126	126	0	
(3) 施設利用者への利便提供事業費支出	54	9,224	9,539	△ 315	
駐車場等人件費支出	55	1,917	1,862	55	
駐車場等運営費支出	56	7,307	7,677	△ 370	
(4) 県民の学びと実践活動への支援事業費支出	57	4,500	3,395	1,105	
健康福祉祭派遣事業費支出	58	3,433	2,420	1,013	
交流施設管理運営費支出	59	1,067	975	92	
(5) 管理費支出	60	31,952	32,488	△ 536	
人件費支出	61	29,171	29,696	△ 525	
その他経費支出	62	2,781	2,792	△ 11	
(6) 他会計への繰入金支出	63	1,067	1,074	△ 7	
公益目的事業会計繰入金支出	64	1,067	1,074	△ 7	
事業活動支出計	65	301,408	318,899	△ 17,491	
事業活動収支差額	66	3,116	△ 2,206	5,322	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定資産取崩収入	67	30,000	20,000	10,000	
基金引当公社債取崩収入	68	30,000	20,000	10,000	
投資活動収入計	69	30,000	20,000	10,000	
2. 投資活動支出					
投資活動取得支出	70	30,000	20,000	10,000	
基金引当公社債取得支出	71	30,000	20,000	10,000	
基金引当預金取得支出	72	0	0	0	
固定資産取得支出	73	1,030	0	1,030	
車両運搬具購入支出	74	1,030	0	1,030	
投資活動支出計	75	31,030	20,000	11,030	
投資活動収支差額	76	△ 1,030	0	△ 1,030	
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計	77	0	0	0	
2. 財務活動支出					
リース債務返済支出	78	2,568	2,006	562	
財務活動支出計	79	2,568	2,006	562	
財務活動収支差額	80	△ 2,568	△ 2,006	△ 562	
IV 予備費支出		0	0	0	
当期収支差額	81	△ 482	△ 4,212	3,730	
前期繰越収支差額	82	20,049	11,956	8,093	
次期繰越収支差額	83	19,567	7,744	11,823	

2 施設の概要

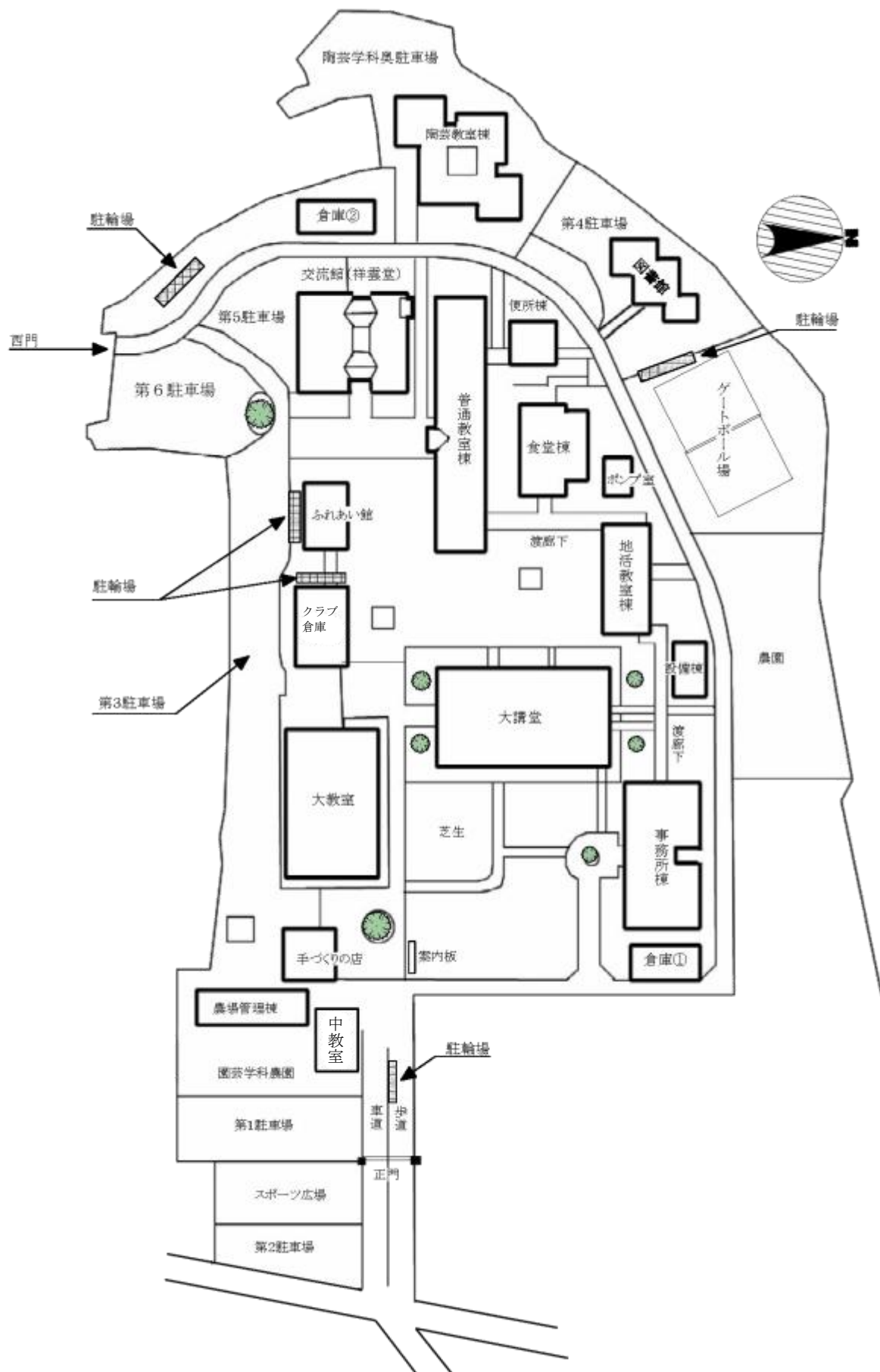
(1) いなみ野学園

① 土地面積 44,113.16 m² (甲子園球場約1個分)

② 主要建物

(名 称)	(面 積)	(建築年月日)
協会事務局 (事務所棟)	513.42 m ²	S61. 3. 31
大 講 堂	662.48	S61.10.13
普 通 教 室	619.40	S62. 1. 12
地 活 教 室	236.45	S61. 3. 22
大 教 室	621.78	S49.12. 2 (H28.5.30 耐震改修)
陶 芸 教 室	350.49	S61. 3. 31
ク ラ ブ 倉 庫	201.65	S28. 6. 30 (S62.4.18 改装)
中 教 室	266.23	H22. 8. 25
ふ れ あ い 館	176.87	H15.10.30 (旧階段教室を改装)
農 場 管 理 棟	162.32	S60. 2. 27
食 堂	282.85	S62.11.18
祥雲堂 (交流館)	499.84	S63. 2. 17
図 書 館	209.50	H 2.12.19
手 づ く り の 店	117.96	S60. 2. 27
倉 庫 ①	119.07	S47. 2. 28
便 所 棟	104.62	S62. 1. 31
倉 庫 ②	138.00	S61. 3. 31
ポ ン プ 室	19.50	S61. 3. 31
設 備 棟	72.00	S61. 3. 31

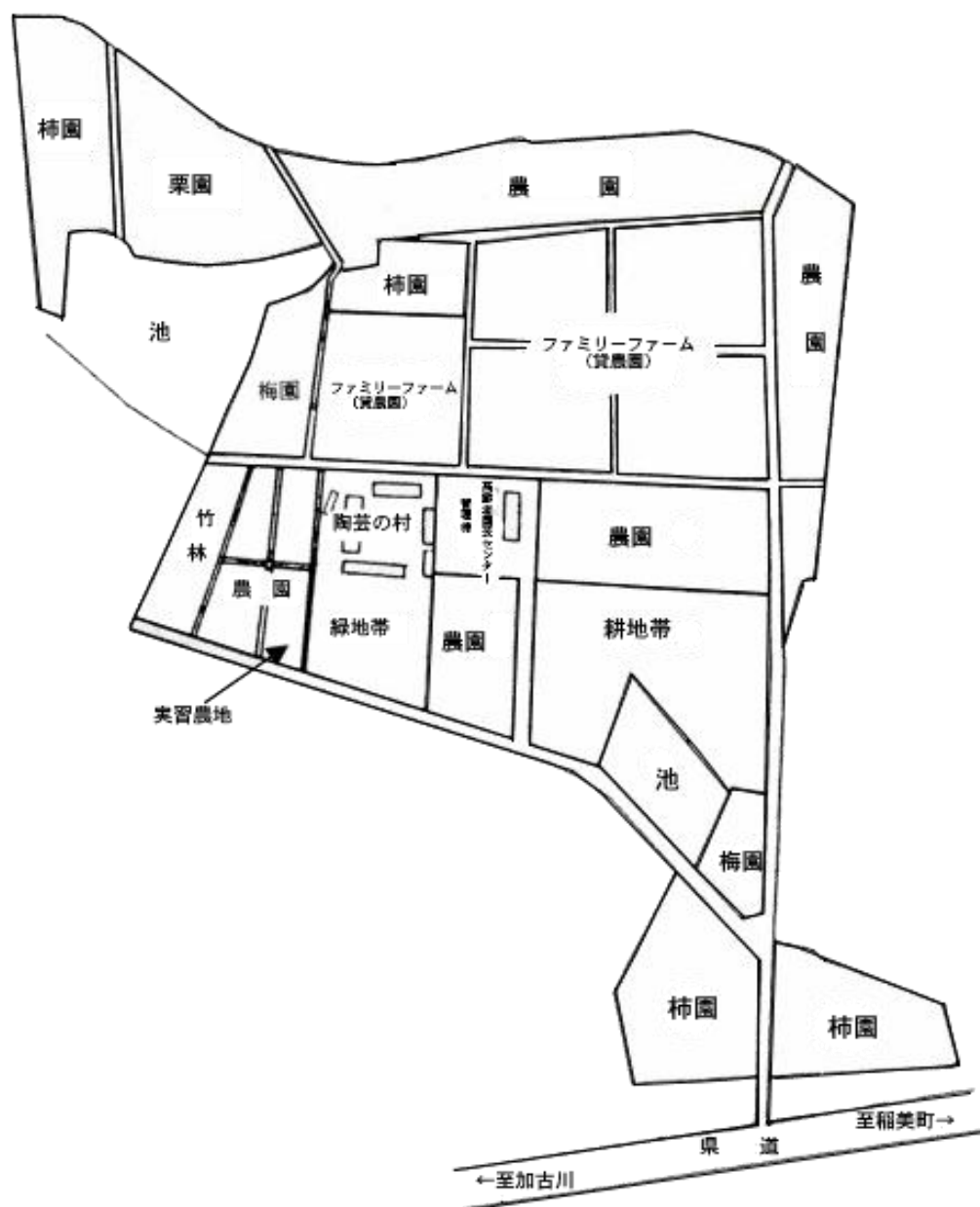
③ 建物配置図



(2) 高齢者園芸センター・高齢者陶芸の村

【土地面積、主な建物、配置図】

	土地 (㎡)		主な建物 (㎡)	
高齢者園芸センター	ファミリーファーム	11,620	管理棟	176
	果樹園	6,330		
	農園	4,415		
高齢者陶芸の村	敷地	2,820	作業棟 3棟	451.11
			窯棟 3棟	120.43
			乾燥製品棟	72.00
			その他	78.24
その他		29,988		
計		55,173		



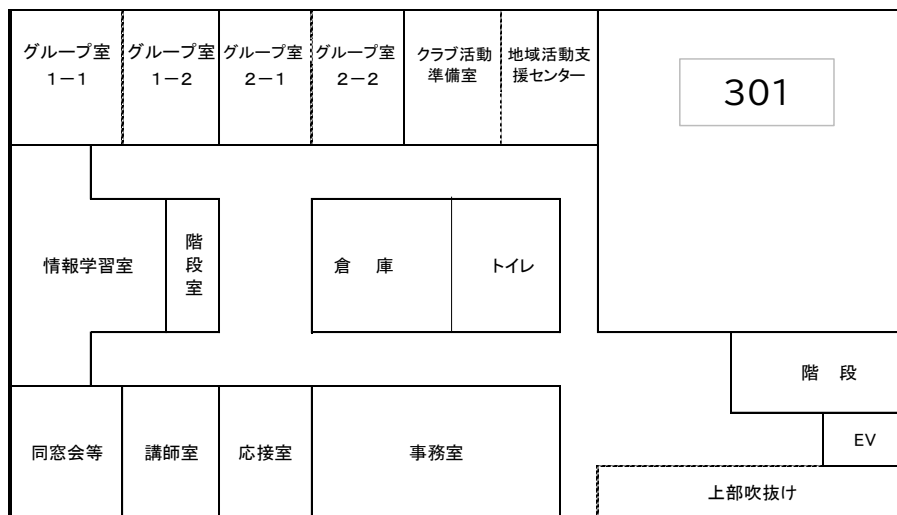
(3) 阪神シニアカレッジ

① 建物面積（阪神健康交流センター 3階・4階・屋上）

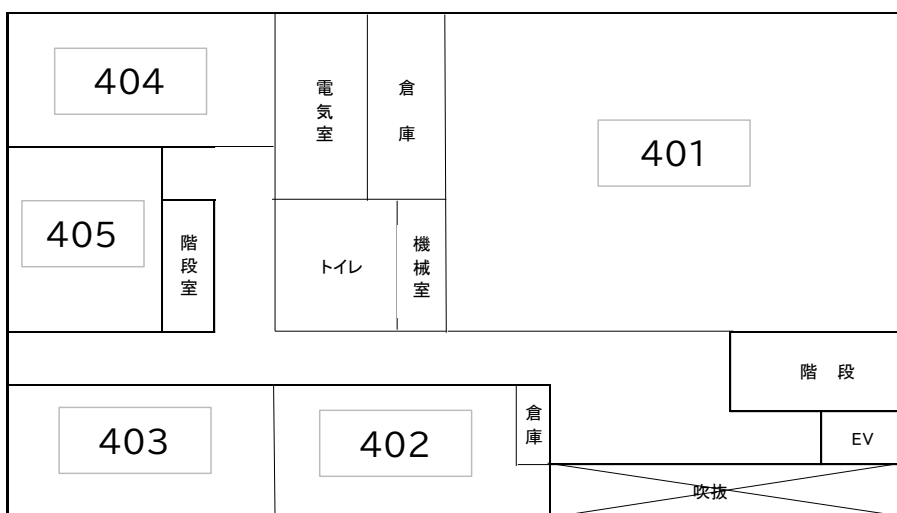
2425.5㎡（3階 998.8㎡、4階 955.5㎡、屋上 471.2㎡（共用部分も含む））

		面積(㎡)	主な室名
3階	グループ室等	315.7	グループ室、地域活動支援センター、情報学習室、同窓会
	教室	157.3	301教室
	講師室、事務室等	200.9	講師室、事務室、学長室、書庫
4階	教室	621.6	401～405教室
屋上 (R階)	実習準備室	16.6	
	実習園	397.3	
廊下・トイレその他		716.1	廊下、トイレ、階段、エレベーターホール、倉庫、電気室等
計		2425.5	

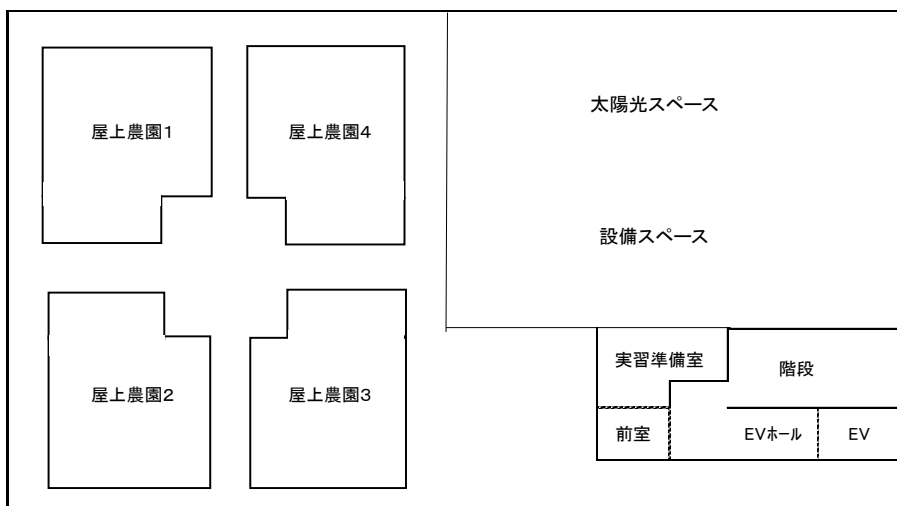
【3階】



【4階】



【屋上】



3 高齢者大学等の学生の状況（令和7年5月1日現在）

① 性別学生数

			男	女	計
いなみ野学園	4年制大学講座	1 年	106	137	243
		2 年	92	86	178
		3 年	86	104	190
		4 年	91	74	165
		小計	375	401	776
	陶芸学科専修コース		17	9	26
	大学院講座	1 年	31	12	43
		2 年	29	10	39
		小計	60	22	82
計		452	432	884	
放 送 大 学 (ひょうごラジオカレッジ)		本 科 生	55	58	113
		聴 講 生	0	0	0
		生涯聴講生	427	631	1,058
		計	482	689	1,171
阪神 シニア カレッジ	4年制大学講座	1 年	89	69	158
		2 年	91	55	146
		3 年	69	67	136
		4 年	60	62	122
		小計	309	253	562
	阪神ひと・まち創造講座	1 年	20	11	31
		2 年	15	12	27
		小計	35	23	58
	計		344	276	620
合 計		1,278	1,397	2,675	

② 入学者平均年齢・最高年齢

		令和7年度			
		平均年齢		最高年齢	
		男	女	男	女
いなみ野学園	4年制大学講座	73.5	71.4	93	94
		72.4			
	陶芸学科専修コース	75.1	70.6	84	76
		73.5			
	大学院	74.3	76.7	83	87
		74.9			
放送大学 (ひょうごラジオカレッジ)		69.4	70.2	84	93
		69.8			
阪神シニア	4年制大学講座	73.1	71.2	89	82
		72.3			
	阪神ひと・まち創造講座	72.4	74.8	78	87
		73.2			

③ 年齢別学生数

			～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～	計
いなみ野学園	4年制大学講座	1年	7	19	70	77	46	20	4	243
		2年	2	7	53	61	43	9	3	178
		3年	3	13	61	76	28	8	1	190
		4年	1	12	59	62	24	7	0	165
		小計	13	51	243	276	141	44	8	776
	陶芸学科専修コース		0	2	4	9	8	3	0	26
	大学院講座	1年	0	0	6	17	15	4	1	43
		2年	0	0	3	17	14	4	1	39
		小計	0	0	9	34	29	8	2	82
計		13	53	256	319	178	55	10	884	
放送大学（ひょうごラジオカレッジ）		本科生	13	8	30	29	23	6	4	113
		聴講生	0	0	0	0	0	0	0	0
		生涯聴講生	9	20	47	118	241	316	307	1,058
		計	22	28	77	147	264	322	311	1,171
阪神シニアカレッジ	4年制大学講座	1年	2	9	35	54	49	7	2	158
		2年	1	11	47	49	30	6	2	146
		3年	2	5	34	49	35	8	3	136
		4年	1	6	24	43	38	9	1	122
		小計	6	31	140	195	152	30	8	562
	阪神ひと・まち創造講座	1年	0	0	6	11	13	0	1	31
		2年	0	3	9	7	8	0	0	27
		小計	0	3	15	18	21	0	1	58
	計		6	34	155	213	173	30	9	620
合 計		41	115	488	679	615	407	330	2,675	

④ 学科・コース別学生数

いなみ野学園4年制大学講座

	園芸	健康づくり	文化	陶芸	陶芸専修コース	計
1年	55	74	91	23	4	247
2年	42	61	61	14	6	184
3年	52	57	69	12	10	200
4年	35	38	73	19	6	171
計	184	230	294	68	26	802

いなみ野学園大学院（2年制）

※1年2学期よりコース別学習

	地域づくり研究	歴史・文化	健康・福祉	環境・地域	景観園芸	計
1年	43					43
2年		22	3	4	10	39
計	43	22	3	4	10	82

阪神シニアカレッジ 4年制大学講座

	園芸	健康	国際理解	計
1年	28	60	70	158
2年	32	55	59	146
3年	31	51	54	136
4年	23	50	49	122
計	114	216	232	562

⑤ 地区別学生数

講座名		学年等	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	その他	計
いなみ野学園	4年制 大学講座	1年	48	1	1	165	21	4	2	0	1	0	0	243
		2年	25	3	0	124	13	8	5	0	0	0	0	178
		3年	39	0	0	134	10	6	1	0	0	0	0	190
		4年	29	0	0	111	15	6	4	0	0	0	0	165
		計	141	4	1	534	59	24	12	0	1	0	0	776
	陶芸学科専修コース		3	0	1	19	1	2	0	0	0	0	0	26
	大学院	1年	6	0	0	31	3	2	1	0	0	0	0	43
		2年	4	0	0	31	3	0	1	0	0	0	0	39
		計	10	0	0	62	6	2	2	0	0	0	0	82
	合計		154	4	2	615	66	28	14	0	1	0	0	884

講座名		学年等	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	その他	計
放送大学		本科生	31	8	11	14	6	8	6	4	13	2	10	113
		聴講生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		生涯聴講生	126	134	109	197	116	94	109	50	85	16	22	1,058
		計	157	142	120	211	122	102	115	54	98	18	32	1,171

阪神シニアカレッジ	講座名	学年	尼崎市	西宮市	芦屋市	伊丹市	宝塚市	川西市	三田市	猪名川町	神戸市	その他	計
	4年制 大学講座	1年	11	29	6	8	63	11	4	4	22	0	158
		2年	8	32	2	10	57	6	6	2	23	0	146
		3年	5	31	3	9	57	10	3	2	16	0	136
		4年	13	30	5	8	40	9	1	1	15	0	122
		計	37	122	16	35	217	36	14	9	76	0	562
	阪神ひと・まち 創造講座	1年	2	2	0	3	14	1	4	0	5	0	31
		2年	1	6	0	2	12	1	1	0	4	0	27
		計	3	8	0	5	26	2	5	0	9	0	58
	合計		40	130	16	40	243	38	19	9	85	0	620

5 生涯学習情報の提供・相談等に係る令和6年度事業別実績等

(1) 学習相談・学習情報の提供

◆年間相談件数 67件

(2) 生涯学習情報ネットワークシステム「ひょうごインターキャンパス」の運営

◆参画機関数 472機関

◆年間アクセス数 153千件

(3) 生涯学習リーダーバンクの運営

◆バンク登録人数 176人

◆年間活動延べ件数 1,551件(令和5年度)

※ 年間活動延べ件数は2年に1度の調査であるため、令和5年度実績を掲載しています。

(4) 生涯学習推進アドバイザーの派遣

◆派遣件数 18件



～あらゆる世代の生涯学習を応援します～

公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会

〒675-0188

兵庫県加古川市平岡町新在家 902 番地の 3

電 話 (079) 424-3380(代)

FAX (079) 424-3475

<https://www.hyogo-ikigai.or.jp/ikigai/>